

豊中市議会議員(保守系市民派・無所属)

福岡まさき

平成23年12月 後援会事務局発行 市政だより

十二月定例会



中核市への移行は「豊中市」を変えるチャンスとすべき!

11月30日から始まった12月定例会は、建設水道常任委員会を最初に、4つの各常任委員会、各政党会派の個人質問が行われました。また今議会では平成23年度一般会計補正予算や中核市移行にともなう条例設定なども行われ22日間の日程を終了しました。

…中核市とは…

規模が比較的大きく一定の事務処理能力を持つ都市について、その事務権限を強化し、できる限り住民の身近で事務を行うことができるようにするため、設けられた制度です。民生、保健衛生、環境、都市計画・建設行政など、これまで府の管轄だった事務が市に移行されることになり、市民サービスの向上や地域特性を活かしたまちづくりの推進や都市のイメージアップにつながります

「福岡まさき」の個人質問は

○**電子自治体を推進**…市民サービスの更なる向上と、自治体クラウド導入による経費削減効果の実現を目指し提言。

○**「空き家条例」制定について**…廃屋同様に放置された危険住宅と、市内にある7戸に1戸と言われる空き家を条例の制定を機にその対策に取り組むことを要請。

○**千里NT50年と今後の課題**…まちづくりから来年で50年を迎える千里ニュータウンに於いて、今後本格化する府営住宅やUR都市機構の建替え、千里中央地区再整備事業などに豊中市はしっかりと役割を果たし、千里ブランドを守ること。

また、魅力ある公園や緑道の街路樹の更新に本格的に取り組むこと。

こうした質問に市は具体例を示しながら積極的に取り組むことを答弁しました。

「新政とよなか」議員団控え室

〒561-8501

豊中市中桜塚3丁目1番1号

TEL 6858-2620 (直通)

FAX 6852-2384

自宅

〒560-0082

豊中市新千里東町2-7 C27-1109

TEL 6833-7705

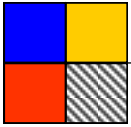
FAX 6831-1281

E-mail ximtechs@dab.hi-ho.ne.jp

福岡正輝 ホームページもご覧ください

<http://www.fukuokamasaki.com>又は (ヤフー又はグーグルの福岡正輝で検索)

※日常の活動や政治信条、市政の裏話など報告しています。
また、「市政だより」に掲載できない詳細部分はブログで公開しています。



「福岡まさき」の

活動日記

「よみうり文化センター」再開発

読売新聞大阪本社とよみうりテレビは「よみうり文化センター」を再開発し、地上7階の商業施設と地上54階建の超高層マンションを組み合わせた複合施設として再開発すると発表しました。

文化センターは1977年に開設し、地上3階建てで、文化教室と水泳スクールで多くの会員を持ちますが、建物の老朽化により建替えを決定。商業部門は開業時期を15年、17年に分けて大型店舗や医療モールを誘致します。超高層マンションは19年春の完成予定で関西電力グループが分譲の予定です。

千里中央が名実ともに北大阪の核としての役割を果たし、活性化とにぎわい創出、結果としての税収効果など豊中市にとっては大事な再整備事業となります。

今後とも千里選出の与党議員として、大いに影響力を発揮したい。

「私立幼稚園連盟」からの要望

豊中市の幼児教育は私立園が大きな役割を果たしているながら、市として十分な支援が出来ず私立園と公立園に通わせる保護者(納税者)の負担に大きな違いが出ています。ちなみに現状では、私立幼稚園児に対し公立幼稚園児には8倍以上の公費負担(その多くは人件費)がされています。

今回、公私格差の是正と私立幼稚園を知っていただくための体験チケットの補助について要望を受けました。公私の格差是正に取り組むと同時に、今後とも積極的に環境整備とその充実に取り組み、名実ともに

「教育文化都市」と言われるようその役割を果たしたい。



私の議会や地域での活動の一部をブログ形式で報告しています。掲載文は編集しているものもありますので、詳細な内容や裏話については、電子版でご覧下さい。

平成24年度 予算要望提出

「新政とよなか議員団」として平成24年度予算要望を行いました。19すべての部局に対し行われた要望は、新規35項目を含め187項目になります。

私たちの要望は政策提言が中心で「おねだりの要望」はありません。会派各議員から出された要望項目を詳細に検討し、まとめあげるのが私の担当です。予算要望提出には、市長をはじめとした幹部職員が出席し約1時間にわたり懇談しました。

以下は、私が提出した新規項目の一部です。

- 災害非常時のFM千里との防災協定の強化
- 自治体クラウド導入による市民の利便性確保とコスト削減
- 運転手付き公用車の全廃と民間委託化
- 駅周辺での喫煙禁止とポイ捨ての条例制定
- 廃屋の撤去や適切な管理を義務付ける「空き家条例」の制定
- 「千里ニュータウン50年事業」と歴史が分かる電子資料システムをコラボに設置
- 市立豊中病院の経営安定化と信頼を得る「病院機能評価」や「機能評価係数」など外部評価の向上への取組み、更に医療版A DRの機能強化 など

※「平成24年度豊中市の施策ならびに予算編成」に関する要望書をご希望の方はご連絡ください。



「いろいろブログ」

10/19~12/21



二市にまたがる「まちづくり」…

豊中市東寺内、吹田市千里山西3丁目にまたがる広い開発事業で、完成とともに前面の豊中市道に歩道を設置する件について隣接地も含めて混乱が1年以上続いています。

この混乱解決の相談を建築家H氏と吹田市の自治会長Y氏から受け、取り組みました。永い間、両市の役人や自治会関係者、現職や元職を含めた議員など多くの関係者が関わっていましたが、解決には至りませんでした。

私が関わったのは1カ月余りですが、両市に働きかけ、決断のスピード化を迫ることで解決の方向となりました。二つの行政区にまたがる開発や「まちづくり」に関係するため複雑な問題等もありましたが、結局は私心や雑念を捨て「全体の奉仕者たれ」のスタンスと、「まちづくりの基本」を第一に考えれば、さほど混乱することもなかったのではないかと考えます。これまでの経験と、今回そうした思いで御協力いただける方々が私の周りにおられたことが幸いでした。

二つの市をまたぐ開発や「まちづくり」に関して、指導や手法の違い(駐車場設置率は豊中市50%、吹田市40%、3,000㎡以上の開発にかかる提供公園は豊中市3%、吹田市5%等々)を克服し実現できたことと、ご尽力いただいた全ての方々に敬意と感謝を申し上げたいと思います。

今回の経験や実績を先進事例のケーススタディとすべく、記念フォーラム等の開催も大変意義深いと考えます。私も積極的に関わり協力したいと思います。

10月10日	「街角広場」10周年
10月21日	常任委員会質問 I~III
11月 8日	「バリアフリーWS」参加
11月20日	「市議会議員研修」参加
12月 5日	リニア鉄道館の見学
12月13日	質問通告しました

府営住宅建替えに地域の思いが…

大阪府営新千里東住宅の建て替え一期工事が完了し、元の住民の一部の方々が帰って来られました。府は財政悪化の中、居住者の期待にこたえるべく、民間事業者の優れた能力等を活用し、PFIという手法に活路を求めた建て替えとなりました。

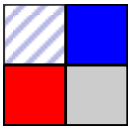
こうした建て替え事業については、常に居住者の不安心理を利用する反対勢力もあるものです。私自身はこの事業に西町での教訓を活かし、反対や過大な要求をするのではなく、府民の方々の理解を得られる要求の実現を図ることが大切だと主張してきました。

そうして、既に基本設計が出来上がり入札直前だった時期に、地元自治会、校区福祉委員会、豊中市社協や府議会議員とともに府の関係部局と粘り強く交渉し以下の要望の実現となりました。

- ◆集会所の大幅増床
- ◆配食サービスも可能な厨房設備
- ◆電気、ガスの能力アップ 等々

これにより、今後様々な使い方が可能となりました。

先日、完成した集会所では、地域のボランティアの方々が運営しているコミュニティカフェ(サンサン広場)が開かれていました。私も訪問し、おいしいコーヒー(100円)を頂きましたが、会場には普段の何倍もの皆さんが集まり、楽しいひと時を過ごされていました。今後は配食サービスや食事会など、この機能が最大限活かされ、地域の活性化と住民福祉に役立てばと期待します。



地域の問題や課題解決に取り組んでいます

消防署移転計画について

新千里消防出張所が現在の新千里南町から西町に移転しての改築が計画されています。

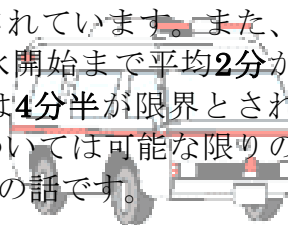
この計画は、現在の出張所の老朽化と国の指導による消防力の空白地域解消のため1.6km北へ移動した市有地に計画されているものです。

これにより新千里北町1～3丁目、東町2～3丁目の6.745世帯13.811人の課題解決と市内全域で**空白地域**（※）が解消する予定です。

尚、この計画には一部に反対があるため、市には丁寧な説明と十分な対策をはかり、住民理解が得られるよう要請しています。

（※）消防力の空白地域とは、消防ポンプ自動車が行く限界時間である**4分半**以内に1台も到着しない地域をさします。

消防活動実態調査によると、出場から放水開始までの所要時間が**6分半**を超えると急激に延焼率が高まるため、火元建物の隣棟が再使用可能な状態で消火するためには、**6分半**以内に放水開始することが必要とされています。また、消防隊が現場到着後、放水開始まで平均**2分**が必要のため走行限界時間は**4分半**が限界とされています。更に救急車については可能な限りの早期到着が必要なのは当然の話です。



地域力が公共工事のやり方を変えた

こぼれび通りから千里中央公園に至る安場橋が老朽化に伴う耐震補強工事中です。

これまでこうした工事は、市や業者に任せっぱなしでしたが、今回はこの工事に地域として注文をつけ、躯体の補強工事以外の床材や欄干、モニュメントや照明にも注文をつけ、すべりにくい材質や色づかいにも工夫を加えることになりました。

これまで地元で行われた工事において、発注者が地域特性や使用実態を理解していないための不具合や、ムダを数多く経験しました。こうしたことを避けるため「地域自治」の全市モデルとなっている地区として今回、市との協働を実践したものです。地域に住む建築家で「まちづくりコンサルタント」O氏の無償協力を得て取り組んでおり、他地域への視察も行いました。

「千里百景」にもなっているこの緑道は、老朽化した街路樹の更新決定や、照明のLED化、スーパー防犯灯の存在や、地域の清掃活動・緑化活動により、ますます魅力あふれる散歩道として高い評価を受けそうです。



「千里中央公園」にも自販機！

これまで市が持つ経営資源の有効活用を提言し、遊休地の活用や既得権者が独占していた市施設の多数の自販機収入を市の収入とし、財政再建に寄与するよう取り組んできました。

その後もこの問題に取り組み、今回は千里中央公園や豊島公園などに9台の自販機を設置し、利用者の利便性の向上と災害ベンダー（災害時に無料で利用が可能）としての機能を持たせることになりました。

更に千里体育館では、長年休業していた喫茶軽食コーナーの再開を提言し、募集・審査の結果、来年早々にも営業再開が予定されています。どうぞご期待下さい。

・言いたい放題・

悪の枢軸と言われた北朝鮮の独裁者、金正日総書記の死去が報じられた。金正日ほど自国民に愛され嫌われた指導者を私は知らない。

一党独裁と個人崇拜国家の指導者として贅の限りを尽くし、権力をふるった指導者も病には勝てなかった。逆らうものは粛清し収容所にも送る。日本からは横田めぐみさんを始め国の認定だけで12人、拉致の疑いを否定できない失踪者が100名以上いると言う。

今が一刻も早い救出の「千載一遇のチャンス」だが、拉致問題担当大臣がマルチ商法問責決議の山岡大臣とは何たる不幸か……